

2 【四半期財務書類】

(1) 【四半期連結財務諸表】

① 【四半期連結貸借対照表】

		前連結会計年度 2023年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2023年12月31日 (単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 2024年9月30日 (単位：千米ドル)	当第3四半期 連結会計期間末 2024年9月30日 (単位：百万円)
資産の部					
流動資産					
現金及び預金		1,276	182	456	65
売掛金	※1	463	66	625	89
未収入金		50	7	61	9
その他		259	37	179	26
流動資産合計		2,048	292	1,321	189
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物		469	67	545	78
減価償却累計額		△ 298	△ 43	△ 417	△ 60
建物及び構築物（純額）		171	24	128	18
工具、器具及び備品		254	36	263	38
減価償却累計額		△ 174	△ 25	△ 210	△ 30
工具、器具及び備品（純額）		81	12	53	8
有形固定資産合計		252	36	181	26
投資その他の資産					
関係会社株式		9,741	1,390	9,633	1,375
投資その他の資産合計	※1	9,741	1,390	9,633	1,375
固定資産合計		9,993	1,426	9,814	1,401
資産合計		12,041	1,719	11,136	1,589

	前連結会計年度 2023年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2023年12月31日 (単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 2024年9月30日 (単位：千米ドル)	当第3四半期 連結会計期間末 2024年9月30日 (単位：百万円)
負債の部				
流動負債				
買掛金	25	4	26	4
短期借入金	1,878	268	1,171	167
未払法人税等	3	0	-	-
未払金	9,932	1,418	6,797	970
未払費用	990	141	1,377	196
その他	195	28	111	16
流動負債合計	13,023	1,859	9,481	1,353
固定負債				
長期借入金	743	106	755	108
その他	-	-	28	4
固定負債合計	743	106	783	112
負債合計	13,766	1,965	10,264	1,465
純資産の部				
株主資本				
資本金	308	44	1,501	214
資本剰余金	471,317	67,271	474,449	67,718
利益剰余金	△ 438,649	△ 62,608	△ 440,574	△ 62,883
株主資本合計	32,977	4,707	35,376	5,049
その他の包括利益累計額				
為替換算調整勘定	△ 34,702	△ 4,953	△ 34,810	△ 4,968
その他の包括利益累計額合計	△ 34,702	△ 4,953	△ 34,810	△ 4,968
新株予約権	-	-	305	44
非支配株主持分	-	-	-	-
純資産合計	△ 1,725	△ 246	871	124
負債純資産合計	12,041	1,719	11,136	1,589

②【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年9月30日 (単位：千米ドル)	前第3四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年9月30日 (単位：百万円)	当第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日 (単位：千米ドル)	当第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日 (単位：百万円)
売上高	1,798	257	1,497	214
売上原価	1,090	156	801	114
売上総利益	708	101	696	99
販売費及び一般管理費				
役員報酬	300	43	300	43
給料及び手当	356	51	368	53
広告宣伝費	16	2	36	5
減価償却費	132	19	128	18
貸倒引当金繰入額	14	2	-	-
支払手数料	1,201	171	1,372	196
地代家賃	52	7	48	7
その他	380	54	303	43
販売費及び一般管理費合計	2,451	350	2,555	365
営業損失(△)	△ 1,743	△ 249	△ 1,859	△ 265
営業外収益				
受取利息及び配当金	17	2	2	0
持分法による投資利益	-	-	48	7
為替差益	-	-	116	17
営業外収益合計	17	2	165	24
営業外費用				
支払利息	185	26	229	33
為替差損	227	32	-	-
持分法による投資損失	68	10	-	-
営業外費用合計	480	69	229	33
経常損失(△)	△ 2,206	△ 315	△ 1,923	△ 274
税金等調整前当期純損失(△)	△ 2,206	△ 315	△ 1,923	△ 274
法人税、住民税及び事業税	3	0	2	0
法人税等合計	3	0	2	0
四半期純損失(△)	△ 2,209	△ 315	△ 1,925	△ 275
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 2,209	△ 315	△ 1,925	△ 275

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年9月30日 (単位：千米ドル)	前第3四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年9月30日 (単位：百万円)	当第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日 (単位：千米ドル)	当第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日 (単位：百万円)
四半期純損失 (△)	△ 2,209	△ 315	△ 1,925	△ 275
その他の包括利益				
為替換算調整勘定	31	4	△ 106	△ 15
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0	△ 2	△ 0
その他の包括利益合計	33	5	△ 108	△ 15
包括利益	△ 2,176	△ 311	△ 2,033	△ 290
(内訳)				
親会社株主に係る包括利益	△ 2,176	△ 311	△ 2,033	△ 290
非支配株主に係る包括利益	-	-	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当社グループは、前連結会計年度まで継続して重要な営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても引き続き、営業損失1,859千円(265百万円)、及び親会社株主に帰属する四半期純損失1,925千円(275百万円)を計上しております。また、当社グループのキャッシュ・フローは非常に厳しいため、引き続き既存の債務を返済するための資金が不足しております。これらの状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、これらの状況を解消するために、引き続き既存事業の拡大に注力しつつ、新規事業への投資を開始しております。具体的には、投資物件が安定した賃貸収入を生み出し、不動産価値に潜在的なキャピタルゲインを提供できることを考慮の上、投資目的で不動産を取得する予定です。また、当社グループの成長、経営安定化及び企業価値増大を目指し、収益力、将来性を具備する企業・事業の取得等戦略的投資活動を今後も積極的に推進していく予定であり、当該投資事業を通して、新しい収益源を獲得できるよう努めて参ります。加えて債務超過を解消するため、当社グループは、2024年8月13日公表の「上場維持基準(純資産基準)への適合に向けた計画の進捗状況について」にて記載の取り組みを実施して参ります。具体的には、既存事業からの収益で、債務超過を解消すること、また、当社の当面の運転資金を確保することが難しい状況であるため、連結純資産を増強すること、当面の運転資金を確保すること、並びに投資持株会社として、上記の不動産の取得及び企業・事業等に投資する事業を遂行するための資金を調達することを目的とし、第三者割当による増資(新株式及び/又は新株予約権の発行)を実施することで、2024年12月期末までに連結純資産の債務超過の解消を目指して参ります。当社が、本年これまでに実施した措置としては、(1)2024年4月30日に、債務を削減(純資産を増強)、運転資金及び投資資金を調達するため、第三者割当(デット・エクイティ・スワップ)により普通株式704,500株及び新株予約権6,495,500個を発行したこと、(2)2024年9月13日に、債務を更に削減(純資産を増強)するため、第三者割当(デット・エクイティ・スワップ)により普通株式8,600,000株を発行したことなどが挙げられます。

しかしながら、その他の対応策は、計画実行途上ないし計画途上にあることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間連結財務諸表に反映しておりません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期財務諸表の円換算)

「円」で表示されている金額は、四半期財務諸表等規則第88条の規定に準じて、2024年9月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行における対顧客電信売買相場の仲値、1米ドル=142.73円で換算された金額であります。なお、当該円換算額は、単に表示上の便宜を目的としており、米ドルで表示された金額が上記の相場で実際に円に換算されることを意味するものではありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額	※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額
86	87
(12)	(12)
投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額	投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額
-	-
(-)	(-)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりであります。

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	減価償却費
154	153
(22)	(22)
のれんの償却額	のれんの償却額
-	-
(-)	(-)

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

株主資本の著しい変動

第3四半期連結累計期間においては、転換劣後株式の普通株式への転換により資本金が97千ドル (14百万円) 増加、及び資本剰余金が△97千ドル (△14百万円) 減少しております。

当第3四半期連結会計期間末において、資本金は194千ドル (28百万円)、資本剰余金は471,431千ドル (67,287百万円) となっております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,193千ドル (170百万円)、3,132千ドル (447百万円) 増加し、本株式併合に伴う端数株を買戻し及び消却したことによる部分的な相殺はありますが、第三者割当により普通株式を発行したことによります。

当第3四半期連結会計期間末において、資本金は1,501千ドル (214百万円)、資本剰余金は474,449千ドル (67,718百万円) となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ライセンシ ング事業	メッセー ジ ング事業	その他 の事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	- (-)	1,798 (257)	- (-)	1,798 (257)	- (-)	1,798 (257)
その他の収益	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
外部顧客への売上高	- (-)	1,798 (257)	- (-)	1,798 (257)	- (-)	1,798 (257)
セグメント間の内部売上高又は振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	- (-)	1,798 (257)	- (-)	1,798 (257)	- (-)	1,798 (257)
セグメント利益又は損失(△)	△9 (△1)	99 (14)	△2,299 (△328)	△2,209 (△315)	- (-)	△2,209 (△315)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ライセンシ ング事業	メッセー ジ ング事業	その他 の事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	- (-)	1,497 (214)	- (-)	1,497 (214)	- (-)	1,497 (214)
その他の収益	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
外部顧客への売上高	- (-)	1,497 (214)	- (-)	1,497 (214)	- (-)	1,497 (214)
セグメント間の内部売上高又 は振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	- (-)	1,497 (214)	- (-)	1,497 (214)	- (-)	1,497 (214)
セグメント利益又は損失(△)	△2 (△0)	168 (24)	△2,091 (△299)	△1,925 (△275)	- (-)	△1,925 (△275)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(単位：米ドル、括弧内は円)

項目	前連結会計年度末 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2024年9月30日)
1株当たり純資産額	△0.01 (△1.43)	0.05 (7.14)

2. 1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：米ドル、括弧内は円)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり四半期純損失(△)	△0.02 (△2.85)	△0.57 (△81.36)

(算定上の基礎)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

項目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△2,209 (△315)	△1,925 (△275)
普通株主に帰属しない金額	- (-)	- (-)
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△2,209 (△315)	△1,925 (△275)
普通株式、優先株式及びの期中平均株式数 (株)		
普通株式	102,060,790.39	3,365,577.08
優先株式	89,469,847.90	3,365,576.08
転換劣後株式	100.00	1
	12,590,842.49	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
 2 優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。
 3 2024年3月27日、当社の発行済並びに未発行の普通株式、優先株式及び劣後株式を100株につき1株の比率をもって併合すること。

(重要な後発事象)

1. リボルビング・クレジット・ファシリティからの借入れについて

2024年10月16日、当社は、当面の運転資金を確保するため、リボルビング・クレジット・ファシリティ契約から更に4百万香港ドル (73百万円) 引出し (借入れ) しました。

本書で適用している換算レートは、2024年9月30日現在の株式会社三菱UFJ 銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1 香港ドル=18.37円です。

3【その他】

該当事項はありません。